

令和6年度 長野保健医療大学 事業報告

I 法人の概要

(1) 理念

学校法人四徳学園は、「徳風洽四海」（徳風四海にあまねく）の精神を基本として豊かな人間性と医療に関する高い知識・技術を備えた人材を養成することを理念とする。

長野保健医療大学は、「四徳」を学び、他者に共感し、自己研鑽に励むことにより、人を慈しむ心である「仁心」を醸成・涵養し、保健・医療・福祉の専門職として必要かつ十分な知識と技能を修得することにより、「妙術」を目指し生涯にわたり修練と研鑽を重ねる基礎を身に着けた人材の育成を教育理念とする。

「徳風四海に洽く」

学生が会得する知識や技能を、すべからく人類愛に基づき世界（四海）に広める気概を持って社会に貢献する

「仁心妙術」

人を慈しむ豊かな人間性と医療に関する高い知識と技能を備える

(2) 学校法人の沿革

平成 11(1999)年 6 月	長野医療技術専門学校の設立発起人会開催
平成 12(2000)年 4 月	学校設立準備室を開設
平成 13(2001)年 1 月	学校法人四徳学園設立認可 長野医療技術専門学校設置認可
平成 13(2001)年 4 月	長野医療技術専門学校開校
平成 17(2005)年 9 月	長野医療技術専門学校附属リハビリテーションクリニック 開院
平成 17(2005)年 12 月	大学院入学資格認定 高度専門士の称号付与認定
平成 26(2014)年 10 月	長野保健医療大学設置認可
平成 27(2015)年 4 月	長野保健医療大学開学 保健科学部リハビリテーション学科開設
平成 29(2017)年 4 月	長野市立川中島保育園運営受託
平成 30(2018)年 3 月	長野医療技術専門学校閉校

平成 31(2019)年 4 月	長野保健医療大学に看護学部看護学科を開設
平成 31(2019)年 4 月	川中島保育園施設移管（私立保育所として運営開始）
令和 2(2020)年 10 月	長野保健医療大学附属リハビリテーションクリニックを長野保健医療大学附属整形外科リハビリクリニックに名称変更
令和 3(2021)年 4 月	長野保健医療大学に大学院保健学研究科を開設
令和 4(2022)年 9 月	校歌制定
令和 5(2023)年 3 月	川中島保育園閉園
令和 5(2023)年 4 月	幼保連携型認定こども園川中島こども園開園

(3) 設置する学校・学部・学科等

【長野保健医療大学】

大学院保健学研究科保健学専攻（修士課程）

保健科学部リハビリテーション学科 理学療法学専攻・作業療法学専攻

看護学部看護学科

(4) 学校・学部・学科等の学生数の状況（各年度 5 月 1 日現在）

	年度	入学定員	入学者数	入定 充足率	収容定員	現員	収定 充足率
保健科学部	R3	80	99	1.23	320	356	1.11
	R4	80	93	1.16	320	358	1.11
	R5	80	86	1.07	320	347	1.08
	R6	80	83	1.04	320	348	1.09
看護学部	R3	80	94	1.17	240	259	1.07
	R4	80	73	0.91	320	331	1.03
	R5	80	79	0.98	320	325	1.01
	R6	80	77	0.96	320	316	0.99
大学院	R5	8	3	0.37	16	8	0.50
	R6	8	2	0.25	16	7	0.44
学部 計	R6	160	160	—	640	664	—
大学 総計	R6	168	162	—	656	671	—

平均入学定員充足率

保健科学部	1.13	看護学部	1.01
-------	------	------	------

(5) 役員の概要（令和 7 年 3 月 31 日現在）

理事 定数 5 人以上 8 人以内 現員 8 人

監事 定数 2 人 現員 2 人

区分	氏名	就任年月
理事長	北澤 俊美	平成 24 年 3 月
副理事長	北澤 竜二	平成 24 年 3 月
理事	笠原 甲一	平成 13 年 2 月
理事	高澤 通泰	令和 3 年 4 月
理事	田中 英弥	平成 31 年 1 月
理事	田中 榮司	令和 5 年 7 月
理事	金物 壽久	令和 2 年 10 月
理事	青柳 郁生	令和 3 年 4 月
監事	北澤 英男	平成 13 年 2 月
監事	内田 雄治	令和 3 年 4 月

(6) 評議員の概要（令和 7 年 3 月 31 日現在）

定数 11 人以上 18 人以内 現員 17 人

(7) 教職員の概要（令和6年5月1日現在）

大学		性別			年齢構成					
		人数計	男	女	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～
専任教員	学長	1	1							1
	副学長	1	1							1
	教授	15	8	7				3	9	3
	准教授	6	2	4			1	3	2	
	講師	10	3	7			1	5	4	
	助教	15	7	8		5	2	6	2	
	助手	3	1	2	1		1		1	
	計	51	23	28	1	5	5	17	18	5
兼任教員		115								

基準 大学全体10人、保健科学部14人、看護学部12人 計36人
（教授の基準 18人）

基準36人に対して51人
（教授の基準18人に対して17人）

専任教員一人当たりの学生数（全学の基準） 17.7 人 640人÷36人
専任教員一人当たりの学生数（保健科学部） 15.2 人
専任教員一人当たりの学生数（看護学部） 13.9 人

大学院		性別			年齢構成				
		人数計	男	女	30～39	40～49	50～59	60～69	70～
専任教員	研究科長	1	1						1
	研究指導教員	10	6	4		1	2	5	2
	研究指導補助教員	1		1				1	
	計	12	7	5	0	1	2	6	3
	科目担当教員	7							
兼任教員		14							

基準 12人
（研究指導教員の基準 6人）

大学全体の職員数 27 人

Ⅱ 事業の概要

(1) 中期計画に掲げる事業の概要

1-1 教育体制の整備

- ・大学院では大学院担当教員資格認定基準を満たす学部教員の審査を進め、教員 12 名体制を維持するとともに、特に専門性が高い研究課題への対応として、特任教授が研究指導を補佐する体制を整備した。
- ・保健科学部では前年度末に教授 2 名が退職し設置基準を満たさない状況にあったが、今年度中の教員採用活動により令和 7 年 4 月より欠員が解消し、教育体制の維持を図ることができた。看護学部では体制は維持されているが、実習施設側からの要望である「1 病棟につき教員 1 名常置」への対応が今後の課題である。
- ・教養科目の共通化、専門基礎科目の点検及び IPE 関連科目の統合の 3 点を中心に、「新カリキュラム検討委員会」での議論を行い、令和 8 年度からの新カリキュラム構築に向けた検討を行った。
- ・IPE 関連科目は、各科目とも予定どおり円滑に実施された。また、令和 8 年度以降は、IPE 関連科目を両学部共通の専門科目として位置付け、両学部共同開催による主要科目とする方向で検討している。
- ・卒業・学位授与の状況

学士（理学療法学）	43
学士（作業療法学）	46
学士（看護学）	89
学部合計	178
修士（保健学）	1

・国家試験の結果

	実施日	受験者数	合格者数	合格率	全国の合格率
第 60 回理学療法士	R7.2.24	43	42	97.7%	89.6%
第 60 回作業療法士	R7.2.24	46	45	97.8%	85.8%
第 114 回看護師	R7.2.16	89	83	93.3%	90.1%
第 111 回保健師	R7.2.14	37	35	94.6%	94.0%

- ・ 理学療法学専攻及び作業療法学専攻は、いずれも目標値である 100%合格は達成しなかったものの、不合格者 1 名という結果は、受験生、保護者から一定の評価を得られるものとする。両専攻とも常に 100%の合格率を獲得できるよう、個々の学生に合わせたグループ学修・個人学修の実施及び模擬試験結果などを踏まえた個別面談などの学生支援を継続する。看護学科は目標値に至らず、看護師、保健師双方とも全国平均を下回る結果となった。1 年生の入学の時点から国家試験を意識づけるとともに、補講内容の充実等支援内容について抜本的な見直しを図るなど、適切に対応していく。
- ・ 大学と看護学部理念に基づく円滑な学部運営を図るため、看護学部運営委員会を設置し月 1 回開催している。看護学部教員の共通理解と協力体制の確立を図るため、学科会議内規を制定・運用することにより、活発な議論が行われている。
- ・ 教職員の能力・資質向上のため各種研修会を開催し、多くの教職員が参加している。また、授業評価アンケートを行い、教育環境の改善・向上に努めるとともに学生へのフィードバックを行っている。

実施日	内 容	参加人数
4 月 1 日	学長講話	70 人
5 月 16 日	ハラスメント講習会	63 人
6 月 24 日	ペーパーレス研修会	62 人
7 月 17 日	高校の学習指導要領	43 人
3 月 10 日	大学資料の著作権	53 人
3 月 19 日	業績報告会	55 人

- ・ 教育・研究に関する各種データや資料の収集、分析を行い、学修成果を適切に点検、評価し、教育・研究内容の改善を図るための基本方針となるアセスメント・ポリシー制定の前段階として、学生の成績等データを収集・分析するための教学 I R システムの構築に取り組んだ。
- ・ 名誉教授の称号を 1 名に授与した。

1－2 教育環境の整備

- ・ 定期健康診断の実施と、要観察者等へのフォローとして再検査等を行い、学生の健康に関する情報把握と支援を実施した。禁煙教育として 1 年生への講話のほか、全学年に禁煙対策情報を発信したが、一部学生のルール違反が改善されなかったため、継続的に実施する。

- ・ 入学金免除制度や特別奨学生制度の対象を拡大するなど、独自奨学金制度により入学者数の増加に結びつけられるよう、制度の改善を行った。引き続き奨学金制度の充実について研究を進めるとともに、入試制度の変更も視野に取り組んでいく。
- ・ 学生の日頃の悩みや相談事に対応するため、学生相談室を設置し、その旨を入学式後の保護者説明会で周知を図った。また、学生の教育環境等に対する意見や要望をくみ上げ、関係部署で情報を共有し、教育環境の改善につながる仕組みづくりについて、引き続き研究していく必要がある。
- ・ 令和 7 年度から一部教科書について電子化ができるよう、電子教科書に関する概要説明や、教員対象のアンケート調査等を実施し、電子教科書の希望や課題に関する把握を実施した。その結果、7 年度の新 1 年生の教科書のうち、1 科目 2 冊の電子教科書を導入することとなった。

1－3 運営体制 事務体制の整備

- ・ 組織が守るべき行動規範を示した統治指針であるガバナンスコードについて、5 月 29 日開催の理事会において策定した。その後 9 月にホームページにおいて公開するとともに、実施状況の点検を行い点検表も併せて公開した。
- ・ 自己点検評価の客観性を担保するため、学外に参画いただけるような制度への改善を行うため、他学の取組情報等についてヒアリング調査を行い、客観的な視点による意見聴取の方法について検討した。

2 研究の推進

- ・ 大学院生及び大学院修了生が、自らの研究内容の発表や他者の研究内容を理解する機会とするため、業績報告会への参加を促した結果、院生 1 名、修了生 1 名が 3 月 19 日の業績報告会において発表を行った。
- ・ 科学研究費助成事業、厚生労働行政推進調査事業、企業との共同研究及び財団からの助成金事業として、本学教員を研究代表者とする研究 5 件、研究分担者とする研究 3 件に対して、研究費として総額 14,217 千円が交付された。令和 7 年度の科研費募集に対して 3 件申請したが、いずれも不採択となった。学内公募研究費は新規 1 件を採択した。
- ・ 教員の研究成果の発表の場として、毎年編纂している本学の紀要第 10 巻について、9 月から 11 月にかけて原稿の募集を行ったところ、合計 6 編の応募があった。また、本学教員の論文、講演等の業績を一覧表にまとめ、紀要第 10 巻に掲載することとした。

3 学生自治活動の活性化

- ・ 学生自身が、本学での学生生活の改善に関与できるよう、学生会役員と面談を行い、クラスマッチ、学園祭等のイベント開催を支援した。9月から10月にかけて学生満足度・学生生活実態調査を実施し、アンケート結果からは概ね高い満足度を得ていることを確認したが、回答率が低い等の課題もある。

5 地域との連携強化

- ・ 長野市立長野高等学校との連携協定に基づき、高校での探究活動と本学の入学前教育を実施した。探究活動では、本学教員による講義とグループ活動に対する生徒の満足度は高く、進学に向け大きなモチベーションとなった。入学前教育は基礎学力と大学生活へのレディネス向上を目的に実施し、生徒は高校での学習の復習とともに大学の授業の一端に触れる機会を得るとともに、新たなクラスメートとの事前の交流の場ともなった。

内容		対象者	担当講師
探究活動	第1クール 生理学	医療系大学、専門学校入学予定者	本学教員
	第2クール 英語		
	第3クール 医療		
入学前教育	第1回 国語、英語	本学への入学予定者	市立長野高校教員 本学教員
	第2回 理科基礎、生物		

- ・ 地方自治体や住民自治組織等との連携協定の締結と、協定に基づく事業展開を通じて、地域における本学の認知度向上と、地域住民の健康増進など社会貢献活動を積極的に実施した。

連携先	事業	備考
長野市	放課後子ども総合プランアドバイザー説明会	学生5名参加
長野市	就業体験（キャリア教育・オープンカンパニー）	保健師課程学生7名参加
長野市	教育センター研修会講師 5月10日「学校と医療との連携」 5月16日「知って守ろう 子どもの命」	本学教員による講演
飯山市	基本チェックリスト報告会	データ整理報告
川中島町住民自治協	体力測定会	年2回開催

【協定締結状況】

長野県長野市

長野県飯山市

長野県議会

長野刑務所【令和 6 年度締結】

川中島町住民自治協議会

長野市立長野高等学校

長野県内 11 大学（高等教育コンソーシアム信州）

一般社団法人サキベジ推進協議会

社会福祉法人信濃整肢療護園（稲荷山医療福祉センター）【令和 6 年度締結】

ながの観光コンベンションビューロー【令和 6 年度締結】

6 財政基盤の強化

- ・ 本学が、継続的に高等教育修学支援制度の対象となるよう、機関要件の一つである事業活動収支の経常収支差額の改善に資するため、授業資料の電子化の Wi-Fi 環境の整備や、学生に対する実習補助制度の見直し等の措置を行い、収支の改善に努めた。

7 情報公開、広報活動の推進

- ・ 令和 6 年度のオープンキャンパスは来学型 6 回を実施し、1176 人の参加者を得た（前年 1071 人）。また、高校内説明会及び学校見学会等は 150 回実施した（前年 146 回）。
- ・ 学部の入学生試験結果は別紙のとおり。募集活動については、フェイスブックやInstagramなどの SNS を活用した広報やテレビ CM、長野駅前ビジョン、しなの鉄道車内ステッカーなど幅広く広報活動を行った。5 月、6 月のオープンキャンパス参加者数が昨年度に比べ大きく伸び、全体でも対前年比 110%となったこともあり、保健科学部の出願者は昨年を下回ったものの、看護学部は昨年度を上回り（第一志望の出願者数で保健科学部は前年比 91%、看護学部は前年比 105%）、最終的な令和 7 年度の入学者数も、保健科学部、看護学部共に定員を超える入学者数を確保できた。次年度以降も、引き続きオープンキャンパスなど対面での説明の機会を利用し、本学の特徴や優位性、魅力を発信し、意欲ある受験生、入学生の確保につなげたい。
- ・ 大学院は入学定員 8 名に対して 1 名の入学となり、広報活動の十分な成果は得られなかった。令和 4 年度に制定した奨学金制度により、本学卒業生が入学した場合の授業料は国公立大学院と遜色

ない水準になるため、学部生への積極的な広報を展開する。

- ・ 小中学生への職業理解教育として、長野市のモデル事業（みらいハッケンプロジェクト）を活用した体験活動及び中学生の職場体験の受け入れを実施した。小中学校の段階から医療に関わる職業を正しく理解されるよう、次年度はオープンキャンパス等の開催案内を近隣中学に送付するなど、多くの中学生に参加を促す取組を推進する。

8 その他

- ・ 現行の中期計画は 2020 年度から 2024 年度までの 5 カ年計画であり、本年度末をもって期間が満了となることから、次年度を開始年度とする新たな中期計画について、学長、研究科長、両学部長等のメンバーで内容を検討し、3 月 26 日の理事会・評議員会において決定した。
- ・ 令和 7 年 4 月 1 日付けの私立学校法の改正に伴い、寄附行為の内容変更が必要となるため、令和 6 年 7 月 8 日付けで文部科学大臣に対し寄附行為変更認可申請を行い、同年 10 月 18 日付けで変更認可書の交付があった。

保健科学部リハビリテーション学科

理学療法学専攻：入学定員40名

試験区分	募集人員	試験日	出願総数	受験者総数 (a)	合格者 (b)	うち第2・3 志望合格	追加合格者	倍率 (a)/(b)	入学者	(うち女子)
学校推薦型選抜指定校制		11月16日	6	6	6	0	0	1.0	6	3
学校推薦型選抜公募制	計20	11月16日	25	25	14	0	0	1.8	14	7
総合型選抜自己推薦方式		12月14日	24	24	14	0	0	1.7	11	3
一般選抜Ⅰ期	12	2月1日	24	23	13	0	0	1.8	10	6
一般選抜Ⅱ期	4	2月22日	4	4	2	0	0	2.0	2	1
一般選抜Ⅲ期	若干名	3月13日	募集無し					---	0	0
一般選抜共通テスト利用Ⅰ期	4	1月18日	37	37	20	0	0	1.9	6	4
一般選抜共通テスト利用Ⅱ期	若干名	1月19日	0	0	0	0	0	---	0	0
社会人選抜Ⅰ期	若干名	11月16日	1	1	1	0	0	---	1	1
社会人選抜Ⅱ期	若干名	12月14日	0	0	0	0	0	---	0	0
社会人選抜Ⅲ期	若干名	2月1日	0	0	0	0	0	---	0	0
合計	40		121	120	70	0	0	1.8	50	25

作業療法学専攻：入学定員40名

試験区分	募集人員	試験日	出願総数	受験者総数 (a)	合格者 (b)	うち第2・3 志望合格	追加合格者	倍率 (a)/(b)	入学者	(うち女子)
学校推薦型選抜指定校制		11月16日	10	10	10	0	0	1.0	10	10
学校推薦型選抜公募制	計20	11月16日	18	18	11	0	0	1.6	11	8
総合型選抜自己推薦方式		12月14日	11	11	7	0	0	1.6	6	3
一般選抜Ⅰ期	12	2月1日	22	21	11	2	0	1.9	6	5
一般選抜Ⅱ期	4	2月22日	2	2	0	0	0	---	0	0
一般選抜Ⅲ期	若干名	3月13日	1	1	1	0	0	---	1	0
一般選抜共通テスト利用Ⅰ期	4	1月18日	36	36	18	2	0	2.0	2	0
一般選抜共通テスト利用Ⅱ期	若干名	1月19日	1	1	0	0	0	---	0	0
社会人選抜Ⅰ期	若干名	11月16日	0	0	0	0	0	---	0	0
社会人選抜Ⅱ期	若干名	12月14日	1	1	1	0	0	---	1	0
社会人選抜Ⅲ期	若干名	2月1日	0	0	0	0	0	---	0	0
合計	40		102	101	59	4	0	1.9	37	26

リハビリテーション学科合計			223	221	129	4	0	1.8	87	51
---------------	--	--	-----	-----	-----	---	---	-----	----	----

看護学部看護学科：入学定員80名

試験区分	募集人員	試験日	出願総数	受験者総数 (a)	合格者 (b)	うち第2・3 志望合格	追加合格者	倍率 (a)/(b)	入学者	(うち女子)
総合型選抜A0方式	8	9月26日	23	23	22	0	0	1.0	22	15
学校推薦型選抜指定校制		11月16日	21	21	21	0	0	1.0	21	21
学校推薦型選抜公募制	計32	11月16日	13	13	10	0	0	1.3	10	8
総合型選抜自己推薦方式		12月14日	9	9	8	0	0	1.1	6	4
一般選抜Ⅰ期	24	2月1日	37	37	33	0	0	1.1	18	14
一般選抜Ⅱ期	8	2月22日	1	1	1	0	0	1.0	1	1
一般選抜Ⅲ期	若干名	3月13日	1	1	1	0	0	1.0	1	0
一般選抜共通テスト利用Ⅰ期	8	1月18日	62	62	56	0	0	1.1	7	5
一般選抜共通テスト利用Ⅱ期	若干名	1月19日	0	0	0	0	0	---	0	0
社会人選抜Ⅰ期	若干名	11月16日	0	0	0	0	0	---	0	0
社会人選抜Ⅱ期	若干名	12月14日	0	0	0	0	0	---	0	0
社会人選抜Ⅲ期	若干名	2月1日	0	0	0	0	0	---	0	0
合計	80		167	167	152	0	0	1.1	86	68

保健科学部・看護学部総合計			390	388	281	4	0	1.4	173	119
---------------	--	--	-----	-----	-----	---	---	-----	-----	-----

※出願者・受験者には第2・3志望者も含む

※倍率は指定校推薦を除く

令和6年度 川中島こども園 事業報告

1 教育・保育概要

令和5年4月保育園からこども園に移行し2年目を迎え、当園を利用する小学校就学前の子どもに対し適正な特定教育・保育を提供するため、「教育・保育理念」を礎に5つの育ってほしい子どもの姿を目標として、その具現化に向け次の事業を展開しました。

2 教育・保育の体制等

(1) 職員体制

園長	1人	栄養士	1人
副園長	1人	調理士	7人
主幹保育教諭	2人	内 嘱託職員	1人
保育教諭	26人	内 臨時職員	6人
内 正規職員	9人	事務員	1人
内 嘱託職員	5人	用務員	2人
内 臨時職員	12人	合 計	41人

※ クラス配置保育教諭
 りす0 3人 きりん 2人
 りす1 3人 ぱんだ 2人
 うさぎ 3人 ぞう 2人

(2) 利用者等状況

(単位：人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児		4歳児		5歳児		3号	2号	1号	合計
	3号	3号	3号	1号	2号	1号	2号	1号	2号	認定児	認定児	認定児	
定員	6	10	14	5	20	5	20	5	20	30	60	15	105
4月	6	15	18	8	18	4	22	3	20	39	60	15	114
5月	6	15	18	8	18	5	22	3	20	39	60	16	115
6月	6	15	18	8	18	5	22	3	20	39	60	16	115
7月	6	15	18	8	18	4	22	3	20	39	60	15	114
8月	6	15	18	7	20	4	22	3	20	39	62	14	115
9月	6	15	18	7	20	4	22	3	20	39	62	14	115
10月	6	15	18	7	20	4	22	3	20	39	62	14	115
11月	6	15	18	7	20	4	22	3	20	39	62	14	115
12月	6	15	18	7	20	3	23	3	20	39	63	13	115
1月	6	15	18	7	20	3	22	3	20	39	62	13	114
2月	6	14	18	7	20	3	22	3	20	38	62	13	113
3月	6	13	18	7	20	2	22	3	20	37	62	12	111

※園児数に対する保育教諭配置基準

0歳児 園児3人：保育教諭1人
 1歳児 園児5人：保育教諭1人
 (国要件 6：1)
 2歳児 園児6人：保育教諭1人

3歳児 園児20人：保育教諭1人
 4・5歳児 園児30人：保育教諭1人
 (国要件 25：1であるが、
 チーム保育加算の場合30：1)

(3) 教育・保育提供日及び時間

ア 教育・保育提供日

開園日数	293日		
1学期	4月1日～7月26日	1号	81日
		2・3号	100日
2学期	8月19日～12月25日	1号	90日
		2・3号	123日
3学期	1月6日～3月19日	1号	50日
		2・3号	70日

イ 教育・保育時間

- 教育・保育時間：午前8時30分～午後4時30分
- 保育短時間：午前8時30分～午後4時30分
- 保育標準時間：午前8時30分～午後6時30分

[単位：人]

区分\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教育標準時間	15	16	16	15	14	14	14	14	13	13	13	12
保育短時間	13	12	12	12	13	13	13	12	15	15	14	14
保育標準時間	86	87	87	87	88	88	88	89	87	86	86	85
計	114	115	115	114	115	115	115	115	115	114	113	111

ウ 預り保育・延長保育

- 預り保育（1号認定児）

[単位：人]

区分\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平日	1		8	15	1	6	7	8	13	12	10	10	90
長期				17	23				6			27	73

- 延長保育（2号・3号認定児）

[単位：人]

区分\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
標準時間園児	10	18	11	12	11	10	13	11	5	14	14	11	140
短時間園児	2	2					4				3		11

3 教育・保育活動

(1) 各月の主な行事等

- 4月 入園式、始業式、新入児歓迎会、幼児親子交通安全教室
- 5月 遠足（幼児）、ちびっこすもう、ケアハウス訪問、内科健診、歯科検診
- 6月 幼児保育参観、お話し会、プール開き
- 7月 お話し会、七夕まつり、夏まつり、終業式
- 8月 お話し会、幼児プール参観、始業式
- 9月 プール閉い、未満児保育参観、運動会
- 10月 バス遠足、幼児祖父母参観、内科健診、歯科検診

- 11月 消防署立会による避難訓練、未満児保育参観、やきいも会、
 12月 幼児楽しみ会、お話し会、クリスマス会、終業式
 1月 始業式、どんど焼き、正月遊び
 2月 豆まき、お話し会
 3月 ひなまつり、新年度入所説明会、お別れ会、卒園式
 ＊誕生日会、避難訓練は毎月実施
 ＊薬剤師による安全衛生点検（年４回程度）

(2) 食育教育・保育

○毎月19日を「食育の日」

- ・栄養士による紙芝居等の読み聞かせ
- ・食材下処理（玉ねぎ）の手伝い（３学期）

月 日	内 容	備 考
4月18日	給食室見学	幼児各クラス単位
5月22日	三色食品群について	年中
7月22日	ピザ作り	年長（園畑で栽培した野菜を活用）
11月 7日	だしを味わう	年長（昆布、鰹節、しいたけ三種のだし汁を試飲）
11月14・19日	郷土食を味わう	幼児（けんちん汁・さつま汁）
12月16日	野菜を知ろう	誕生日会で栄養士による野菜の説明
1月17日	ちゃんこ鍋作り	年長 鍋づくりの手伝い（キノコ、野菜をちぎる）
2月26日	ごますり	2歳児 すり鉢でごまする体験

○かみかみ週間

6月19日～21日、12月16日～30日（年２回実施）

(3) 外部講師登用

ア ネイティブスピーカーによる英語教育

○契約教室：I D E A英語教室（長野市高田五分一）

○実施回数：年長児…20回/年、年中児…20回/年

イ 朗読ボランティアによる２歳児以上を対象に、絵本の読み聞かせ

4月25日、6月25日、7月25日、9月17日、11月21日、3月6日 6回

ウ 長野体育指導センター（N P I C）の体育教室

年齢、成長に応じマット、鉄棒、ボール、跳び箱、縄運動の実施

○実施回数：年長…19回/年、年中…19回/年

エ 地域ボランティア

おひさま広場で未就園保護者に対する子育て支援の実施。

7月	多肉植物の寄せ植え
9月	朗読ボランティアによる本の読み聞かせ
12月	クリスマスリース作り

(4) 子育て支援

○おひさま広場（園開放・子育て相談）

5月～2月の毎週火曜日

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年
開催回数		—	3	5	5	3	4	5	4	4	4	3	—	40	30
育児相談件数		—	3	1	0	1	1	1	3	1	7	1	—	19	20
参加者数	保護者	—	14	40	28	29	51	62	33	25	18	26	—	326	213
	内父親		2	7	4	5	7	10	4	1	0	0		40	3
	未就園児	—	16	44	32	33	54	67	41	31	22	30	—	370	249

○園開放

月 日	内 容	月 日	内 容
5月7日	手形スタンプを楽しもう	10月7日	親子ふれあいデー 在園児交流
5月14日	野菜の苗植えを体験しよう	10月15日	さつまいも堀りをしよう
5月21日	発育測定・大学連携「健康相談」	10月22日	ハロウィングッズを作ろう
6月4日	園開放	10月29日	発育測定・大学連携「健康相談」
6月7日	在園児交流	10月31日	ハロウィンを楽しもう
6月11日	散歩に出かけよう	11月6日	やきいも会
6月18日	シャボン玉で遊ぼう	11月12日	園開放
6月25日	体重測定	11月19日	手作り楽器でリズムを楽しもう
7月2日	七夕飾りや短冊に願いを書こう	11月26日	体重測定
7月9日	多肉植物寄せ植え作り・地域ボランティア	12月10日	クリスマスリース作り・地域ボランティア
7月16日	園開放・栄養士の栄養相談	12月17日	園開放
7月23日	水遊びをしよう #1	12月20日	クリスマス会
7月30日	体重測定	12月24日	体重測定
8月6日	水遊びをしよう #2	1月7日	すもうの日を楽しもう 在園児交流
8月20日	大学連携「発達支援」	1月14日	雪遊び・副園長と凧作って遊ぼう
8月27日	体重測定	1月21日	体重測定・大学連携「健康相談」
9月3日	園長講話「防災の話」	1月28日	感染症流行のため中止
9月10日	園開放	2月4日	大学連携・産後の体の体調改善法
9月17日	朗読ボランティア読み聞かせ	2月18日	体重測定
9月24日	体重測定	2月25日	園開放

○子育て相談

相 談 内 容	件数
離乳の方法・離乳食の作り方・離乳食を嫌がる 等	1
偏食・食が細い・ご飯嫌い・食事が遅い・箸の使い方・おやつとの与え方 等	2
オムツかぶれ・トイレトレーニング・夜尿・お漏らし 等	3
首の座り・はいはいをしない・お座り・歩行の遅れ	3
遅れ・赤ちゃん言葉・吃音・早口・発音がおかしい・言葉が乱暴 等	3
ほめかた・叱り方・おもちゃの与え方・習い事・数や文字 等	1
入園・一時預かり・日曜祝日の子どもの預かり・ベビーホーム 等	2
その他	4
合 計	19

(5) 長野保健医療大学との連携

○運動遊び… 7 回/年

保健科学部リハビリテーション学科教員が参加し、2 歳児・3 歳児を対象に遊びを通じて子ども達の発育状況を測定し、成長に繋げる教育と保育を実践。

○看護学部看護学科実習生受け入れ

16 回/年（2 月 3 日～2 月 26 日） 71 人

乳幼児の生活及び成長発達を理解し、健やかに成長するために必要なケアについて考える母性看護学実習における臨地実習を計画的に受入。

(6) 職員研修

種 別		回数	人数	内 容
職 場 外 研 修	市主催研修	9	9	救急法講習会、給食担当者研修 等
	県・国（省庁）主催研修	5	5	園長研修、スマイル研修 等
	私立保育協会主催研修	1 2	1 5	園長研修、スマイル研修 等
	全国・県保育連盟等主催研修	3	3	理事長・所属長研修
	各種団体等主催研修	2	2	日本保育協会、こども家庭庁公開研修
	キャリアアップ研修	1 6	1 6	専門リーダー等養成研修
O J T（職場研修）		1 3	1 3	嘔吐処理、危機管理研修
合 計		6 0	6 3	

(7) 防災・防犯訓練

避難訓練実施状況

想定災害	実 施 月
火災	4 月、5 月、8 月、10 月、11 月（消防署立会）、12 月、2 月、3 月
地震	6 月、9 月、1 月
洪水	7 月

(8) E C C ジュニア英語教室

株式会社 E C C が展開する課外英語教室の会場とし、火曜日午後 4 時～午後 5 時の間子育て支援室・多目的室を開放。

参加園児：年長児 4 人、年中児 2 人

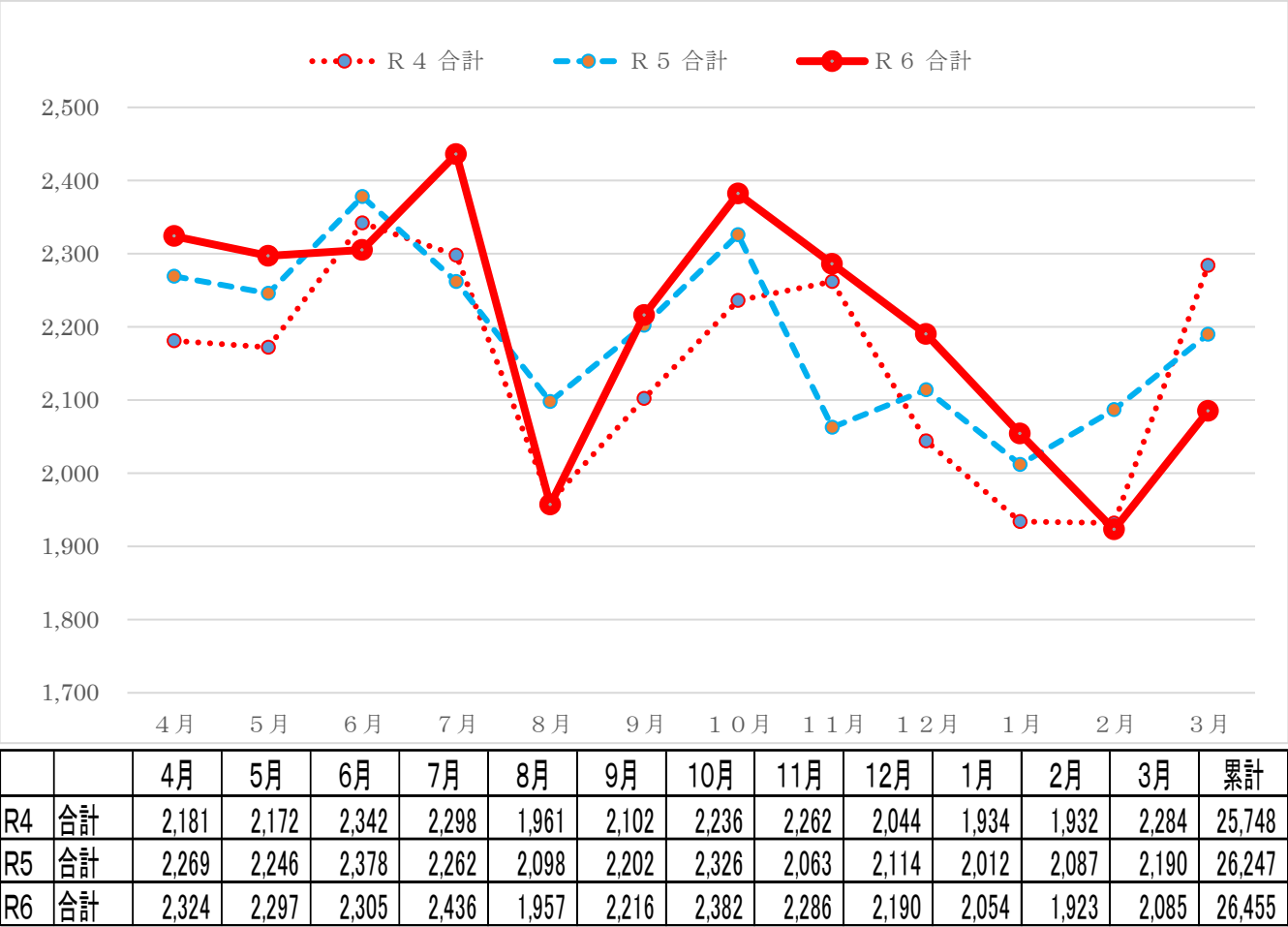
令和6年度 大学附属整形外科リハビリクリニック 事業報告

1 事業総括

患者・利用者状況につきましては、医療事業で延20,625人（前年度比101.7%）、介護事業では延5,830人（前年度比97.6%）、累計では26,455人（前年度比100.8%）で前年度より208人の増でありました。累計が増となった要因は、整形外科外来が前年度より385人増となり、介護事業（通所リハビリ2時間・訪問リハビリ）における利用者減を補うことができた事によります。

決算状況は、収入が137,686千円（前年度比99.8%）、支出が129,350千円（前年度比100.5%）であり、当期純利益は8,336千円（前年度比90.2%）で、前年度より▲910千円の状況でありました。ただし、計画と比べ7,976千円の増（計画比2,315.6%）となり、計画を大きく上回ることができました。

患者・利用者総数（過去3年間）



計画対比・前年度実績対比 (千円)

	令和6年度実績	令和6年度計画	計画対比	令和5度実績	前年度対比
収入	137,686	136,020	101.2%	137,940	99.8%
支出	129,350	135,660	95.3%	128,694	100.5%
利益	8,336	360	2,315.6%	9,246	90.2%

2 実習生等の受入れ

・長野保健医療大学よりの実習生受入状況

理学療法学専攻	合計	6名	作業療法学専攻	合計	3名
・臨床評価実習（2年次）		1名	・臨床評価実習（2年次）		1名
・臨床評価実習（3年次）		1名	・臨床実習（4年次）Ⅰ期		1名
・臨床実習（4年次）Ⅱ期		2名	・臨床実習（3年次）		1名
・地域理学療法実習（4年次）		2名			

・川中島中学校の2年生2名が職場体験実習

3 保健予防活動

- インフルエンザ予防接種 合計 349名
- ・長野保健医療大学教職員 42名、 長野保健医療大学学生 169名
 - ・川中島こども園職員 24名、 ケアハウス南長野職員 24名
 - ・ケアハウス南長野入居者 17名、 グリーンヒル職員 33名
 - ・グリーンヒル中央館職員 13名、 クリニック職員 17名
 - ・その他 10名
- 感染症抗体検査
- ・長野保健医療大学学生・院生・教職員 163名
- ケアハウス南長野入所者結核検診 68名

4 施設整備

- ・骨密度測定器（更新）
- ・通所リハビリのパソコン（更新）

5 広報活動

- ・ホームページにおいて、毎月の診療担当表、介護事業の空き状況や各種お知らせ等、適時更新を図った
- ・クリニック通信を4回発行し各施設へ配布した

6 研修会、講習会への積極的参加

下記、研修会に参加し個々のスキルアップを図った。

- ・長野保健医療大学臨床実習指導者会議
- ・院外講師による合同講習会（肩関節の治療）
- ・地域ケア会議（3回）
- ・第61回日本リハビリテーション医学会学術集会
- ・保険医療福祉関係者研修会「感染症対策」
- ・介護車両事故防止リスクマネジメントセミナー
- ・長野市高齢者施設の大規模災害対策セミナー
- ・虐待事故防止対策セミナー